

乗車券制度の見直しの方向性について

1 基本的考え方

自主自立の経営により生まれた「利益・収益」をお客さまに見える形で還元するとともに、『横浜市中期 4 か年計画』の「子育て支援・子ども・若者の育成」の一環として、公営交通事業者の立場から子育て世代支援を強化します。

あわせて、交通局の『市営交通中期経営計画』の「乗車券制度の見直しとサービス拡充」として、利用者に分かり易い乗車券制度の構築と、IC 化の更なる促進を実施します。

【参考】

横浜市中期 4 か年計画（2014～2017）

未来のまちづくり戦略 あらゆる人が力を発揮できるまちづくり戦略

子育て支援・子ども・若者の育成

切れ目のない子ども・子育て支援（抜粋）

妊娠・出産時の支援の充実と、在宅の子育て家庭を含めた全ての子育て家庭及び子どもを対象とした子ども・子育て支援の充実に取り組みます。

市営交通 中期経営計画（平成 27～30 年度）

利便性の向上（12）乗車券制度の見直しとサービス拡充（抜粋）

バス事業においては、わかりやすい乗車券制度を検討し、お客様がよりご利用しやすい乗車券をめざします。また、現行の乗車券制度は複雑化しわかりにくく非効率的であるため、一日乗車券の磁気券や回数券・定期券の紙券を廃止して IC カードに統一していくことをめざすと同時に、短距離定期券やシニアパス制度の再検討を行います。

地下鉄事業においては、（中略）子育て世代の負担軽減や利用促進の観点から、通学で利用されるお客様の乗車券制度の見直しなどについて検討します。

2 方向性

(1) 子育て世代支援【地下鉄・バス】

地下鉄、バスの通学定期券料金を見直します。

(2) 分かり易い乗車券制度・IC 化の促進【バス】

- ① シニアパス
利用実態に合わせて、見直します。
- ② 短距離定期券
全線定期券への統合を検討しています。
- ③ 回数券
「バス利用特典サービス」への移行を検討しています。
- ④ 磁気カード
磁気カードの一日乗車券の見直しを検討しています。

3 実施時期

平成 29 年度中の実施を予定しています。

なお、利用者への周知を図るため、平成 29 年の第 1 回定例会にて条例改正案を提出したいと考えております。

【参考】バス乗車券の概要

券種	概要												
<p>シニアパス 【平成16年導入】</p>	<p>○65歳以上のみ購入可能な市営バス全線定期券</p> <p>【発売額】 3か月券 10,220円 6か月券 18,400円</p> <p>○紙製（券面に顔写真貼付が必要） ○通用日は発売翌月の1日から通用期間の月末まで</p> <p>[参考] バスの定期料金 [シニアパス・通学（中学生以上）・通勤] （円）</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #ADD8E6;">種別</th> <th style="background-color: #ADD8E6;">シニアパス</th> <th style="background-color: #ADD8E6;">通学 中学生以上</th> <th style="background-color: #ADD8E6;">通勤</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="background-color: #ADD8E6;">3か月</td> <td>10,220</td> <td>22,000</td> <td>27,500</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #ADD8E6;">6か月</td> <td>18,400</td> <td>41,690</td> <td>52,110</td> </tr> </tbody> </table>	種別	シニアパス	通学 中学生以上	通勤	3か月	10,220	22,000	27,500	6か月	18,400	41,690	52,110
種別	シニアパス	通学 中学生以上	通勤										
3か月	10,220	22,000	27,500										
6か月	18,400	41,690	52,110										
<p>短距離定期券 【平成9年導入】</p>	<p>○利用する停留所間の距離が2km以下の場合のみ販売（1、3、6か月） ○全線定期券比で約5%低額（1か月通勤 9,190円、1か月通学 7,350円） ○一部区間で他社（神奈中、相鉄、東急及び京急）と短距離共通定期券を販売（1、3か月）</p>												
<p>回数券 【昭和3年導入】</p>	<p>【販売場所】 定期券発売所(6)、お客様サービスセンター(4)及びバス営業所(10)</p> <p>【券種及び発売額】 大人用 5,000円（5,850円分） 小児用 1,000円（1,100円分）</p> <p>○市営バスのみ利用可能 ○ICカードでの利用額に応じて、バス運賃として利用できる「バス利用特典サービス」と同様の割引率</p>												
<p>磁気カード (1日乗車券)</p>	<p>○バス1日乗車券（ICカード1日乗車券も販売） 【昭和59年導入（ICカード1日乗車券は平成26年）】 【券種及び発売額】 大人用 600円（身障割引300円） 小児用 300円（身障割引150円）</p> <p>○地下鉄・バス共通1日乗車券 【昭和59年導入】 【券種及び発売額】 大人用 830円（身障割引420円） 小児用 420円（身障割引210円）</p> <p>○ファミリー環境1日乗車券 1枚で同居の家族5人まで乗車できる1日乗車券 【平成10年導入】 【券種及び発売額】 1,000円（身障割引500円） 【利用可能日】 土・日・祝日、8月12日～8月16日、12月25日～1月7日</p>												